

団体名	和歌山動物愛護推進実行委員会
活動テーマ	どうする？災害時に備えたペットの救護対策 いざという時のための「ペットのしつけ教室」



災害時にペットを飼い主と一緒に避難させる「災害時におけるペットの救護対策ガイドライン」が平成 25 年 6 月に環境省から発表されました。ところが、「ルール(指針)」は作られても、それに伴う訓練や、指針に沿って行政、自治会、飼い主、地域住民との話し合いに至っているところは、まだありません。行政の指導による説明会、ペットの同行避難訓練を実施するまでは、いろいろな問題が山積されており、現実化するまでにはかなりの時間がかかるようです。

しかし、災害はいつ起こるかわかりません。こうした状況の中で、「和歌山動物愛護推進実行委員会」が結成されました。防災セミナーに参加したり、共催参加して防災イベントの実施訓練等を行ってきました。今日まで額に汗した行動は、いざという時に、人もペットも地域も困らぬよう、安心して安全な社会を実現するための体制づくりのためです。

自分たちの力で主催し、参加して下さった皆さんが“いざ”という時、ペットの救護対策を考えることで、自助、共助、公助の連携の重要性、必要性、各自の備えを再度、見直ことができました。繰り返し、様々な方向から防災を考えることにより多くの人々を安全で安心できる生活に結びこたせよう。

地方でありながらも、行政、各団体の著名な先生方と一般参加者が熱くパネルディスカッションできたことも将来への活動の一歩でもあります。